

お子さまが

1歳6か月児健診を迎えられたお父さんお母さんへ

## — この時期に大切な きこえの問題 —

きこえの障害というと、「全然きこえない状態」を思い浮かべるものですが、一見、物音に反応していたり、会話のやりとりができるようにみえる場合でも、実はきこえに問題のあることがあります。

この時期のきこえの問題は、治療すれば治る「しんしゅつ性中耳炎」という中耳炎によっておこっているものが多いので、早く見つけて治療しましょう。

お子さんに気づかれないようにうしろにまわり、「ささやき声」で「なまえ」を呼んだり、「シー」と呼びかけてください。

何度かやりますと、聞こえていれば、ふりむきます。



「ささやき声」とは、ないしょ話をするときによく使う声です。

のどに手を当てて、まず普通に「アー」といってみてください。手が少しふるえていますね。次にひそひそ話の要領で、息を「はー」と出してみてください。今度は手がふるえませんね。このような小さな声のことを「ささやき声」と言います。

何度やってもふりむかなかった場合や、耳の聞こえに心配なことがあるときは、耳鼻咽喉科へ受診しましょう。